**遺伝子組換え生物に関する情報提供シート**

寄託系統が遺伝子組換え生物の場合は下記の情報提供をお願いします。

依頼系統が複数の場合は、各系統ごとに記入の上、提出をお願いします。

**記入例**

1. 寄託者情報

|  |  |
| --- | --- |
| 寄託者氏名 | Birger Voigt |
| 所属機関・部署・職 | 京都大学医学研究科・附属動物実験施設・研究員 |
| 所属部局の所在地 | 京都市左京区吉田近衛町 |

1. 寄託系統の情報

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝子組換え生物の系統名 | W-Tg(Nanog-GFP,-PuroR)22Kyo |
| DNA供与体 | ラット、オワンクラゲ、Streptomyces ssp. |
| 供与DNAの名称 | マウスNanogプロモーター、  緑色蛍光蛋白質（GFP）遺伝子、  ピューロマイシン耐性（PuroR)遺伝子 |
| ベクター使用の有無 | 無 |
| DNA供与体の特徴及び生物学的リスク | 本実験で扱うDNA供与体は同定済みかつ哺乳動物に対する病原性および伝達性に関係しない。物理的封じ込めレベルP1Aで扱う。 |
| 供与DNA並びにその産物の特徴および性質 | 緑色蛍光蛋白質（GFP）のDNA配列。460nmの励起光を当てると緑色の蛍光を発する。  ピューロマイシン耐性（PuroR)のDNA配列。細胞に抗生物質ピューロマイシンに対して耐性を与える。  GFPとPuroRはNanogプロモーターのもと幹細胞でのみ発現するように制御されている。 |
| DNA供与体を接種した動植物の特性及びリスク | PuroR遺伝子が体内で発現する。 |

1. 作製した実験について

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 | PuroR遺伝子導入Wistarラットの系統維持と受精卵採取 |
| 年月日 | 平成23年　8月11日 |
| 承認者 | 京都大学総長・松本紘 |

**遺伝子組換え生物に関する情報提供シート**

1. 寄託者情報

|  |  |
| --- | --- |
| 寄託者氏名 |  |
| 所属機関・部署・職 |  |
| 所属部局の所在地 |  |

1. 寄託系統の情報

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝子組換え生物の系統名 |  |
| DNA供与体 |  |
| 供与DNAの名称 |  |
| ベクター使用の有無 |  |
| DNA供与体の特徴及び生物学的リスク |  |
| 供与DNA並びにその産物の特徴および性質 |  |
| DNA供与体を接種した動植物の特性及びリスク |  |

1. 作製した実験について

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |
| 年月日 |  |
| 承認者 |  |